

## <ポイント版> ぎふ経済レポート（令和2年1月分）

### **【製造業】不安定な状況に加え、新型コロナウイルスの影響も懸念される**

- 製造業は、鉱工業生産指数で化学工業が前月比大幅に増加したものの、金属製品等低下する産業も目立った。ヒアリングにおいては、輸送用機械をはじめとし、不安定な状況が継続している様子が窺える。また、新型コロナウイルスにより、中国との取引のある事業者は、生産見送りや売上減少の懸念を抱いている。

### **【地場産業】厳しい状況に加え、新型コロナウイルスの影響も懸念される**

- 地場産業は、鉱工業生産指数でパルプ・紙、窯業・土石以外の産業で前月比低下した。ヒアリングにおいては、市場の悪化に加え、暖冬による悪影響や新型コロナウイルスによる影響を懸念する声が聞かれた。

### **【設備投資】落ち込みが長期化している**

- 設備投資は、工作機械受注額について、国内向けは13ヶ月連続、海外向けは14ヶ月連続で前年同月を下回っている。ヒアリングにおいては、効率化等に向けて積極的な投資姿勢の企業もあれば、先行きの不透明感から投資計画を見直す企業もある。

### **【個人消費】暖冬の影響が見られる**

- 個人消費は、小売店の12月の販売額については、家電大型専門店やホームセンター、百貨店・スーパー、コンビニで前年同月比減少した。ヒアリングにおいては、消費動向に対し、暖冬が影響しているとの声が聞かれた。

### **【観光】暖冬、新型コロナウイルスの影響が出ている**

- 観光は、暖冬による雪不足で12月の宿泊客数は、前年同月を下回った。また、1月以降、新型コロナウイルスにより中国人ツアーがキャンセルになる等、大幅な影響が出ているとの声が聞かれた。

### **【資金繰り】資金繰り環境に変化はないが、外部要因による影響が懸念される**

- 企業の資金繰りは、借入環境に変化は見られない。一方で、金融機関としては、観光業を中心に暖冬、新型コロナウイルスの影響等が出ているとの声が聞かれた。

### **【雇用】人手不足の状態が慢性化しているが、一部に解消の兆しもある**

- 雇用面は、有効求人倍率等の関連指標は上昇に転じ、依然として人手不足は慢性化した状態。一方、ヒアリングにおいては、受注量の落ち着きを主因として、人手不足感が薄まってきてはいるとの声も聞かれている。

### **【景気動向】**

景気動向指数（一致指数）は2ヶ月ぶりに低下し、中小企業における景況感も2ヶ月ぶりに低下した。